

科目名	ストリングス・ブラスアレンジ I			担当講師	谷津祐子		
講師実務経験	大学非常勤講師						
対象学年	1	学年	対象コース	作曲・DTMコース / 総合コース		授業形態	講義/実習
期間	前期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		135 分
期	修 得 目 標						
前期	楽器の特性を知り、ストリングス・ブラスアレンジに必要な基本知識を修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月21日	授業ガイダンス／基礎知識					
2	4月28日	ストリングス楽器について					
3	5月12日	ストリングス楽器の入力					
4	5月19日	ブラス楽器について					
5	5月26日	ブラス楽器の入力					
6	6月9日	ボーイング基礎					
7	6月16日	クローズボーイング1					
8	6月23日	クローズボーイング2					
9	6月30日	クローズボーイング3					
10	7月7日	オープンボーイング1					
11	7月14日	オープンボーイング2					
12	7月28日	オープンボーイング3					
13	8月18日	総合的なボーイング					
14	8月25日	まとめと復習					
15							
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト	授業内で適宜プリントを配布します						
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	DTM I		担当講師	中村未央	
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTMコース / 総合コース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	21 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	DAW(Cubase)の基本操作、楽曲の構成、音色の仕組みを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	授業ガイダンス			
2	4月21日	A班:授業ガイダンス			
3	4月23日	楽曲制作実習1			
4	4月28日	B班:授業ガイダンス			
5	4月30日	楽曲制作実習2			
6	5月12日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-1			
7	5月14日	楽曲制作実習3			
8	5月19日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-1			
9	5月21日	楽曲制作実習4			
10	5月26日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-2			
11	5月28日	楽曲制作実習5			
12	6月9日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-2			
13	6月11日	楽曲制作実習6			
14	6月16日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-3			
15	6月18日	楽曲制作実習7			
16	6月23日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-3			
17	6月25日	楽曲制作実習8			
18	6月30日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-4			
19	7月7日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-4			
20	7月9日	楽曲制作実習9			
21	7月14日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-5			
22	7月23日	楽曲制作実習10			
23	7月28日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-5			
24	7月30日	楽曲制作実習11			
25	8月18日	A班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-6			
26	8月20日	楽曲制作実習12			
27	8月25日	B班:Cubaseの基本操作と楽曲制作基礎-6			
28	8月27日	楽曲制作実習13			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	63時間中 22時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音源制作基礎 I		担当講師	小島快之	
講師実務経験	アーティスト				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース /総合コース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	7 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	宅録で音源制作する為に必要な知識や技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月21日	B班: 授業ガイダンス			
2	4月28日	A班: 授業ガイダンス			
3	5月12日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習1			
4	5月19日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習1			
5	5月26日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習2			
6	6月9日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習2			
7	6月16日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習3			
8	6月23日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習3			
9	6月30日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習4			
10	7月7日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習4			
11	7月14日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習5			
12	7月28日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習5			
13	8月18日	B班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習6			
14	8月25日	A班: 宅録で音源制作する為に必要な知識と実習6			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法: B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	21時間中 8時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作・編曲 I		担当講師	谷津祐子	
講師実務経験	大学非常勤講師				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ベースコース/ドラムコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	講義/実習
期間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	音楽の理論的側面に触れることによって表現の可能性・多様性を知り、意図的な作曲・編曲ができる力を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	授業ガイダンス／音楽を構成する要素			
2	4月22日	スケールとキー1			
3	5月13日	スケールとキー2			
4	5月20日	調号と近親調			
5	5月27日	音程1			
6	6月10日	音程2			
7	6月17日	コード1			
8	6月24日	コード2			
9	7月8日	コード3			
10	7月15日	ダイアトニックコード1			
11	7月22日	ダイアトニックコード2			
12	7月29日	メロディとスケール・コード1			
13	8月19日	メロディとスケール・コード2			
14	8月26日	まとめと復習			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	授業内で適宜プリントを配布します				
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル基礎		担当講師	中田有紀	
講師実務経験	ヴォーカルトレーナー・ヴォーカリスト				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTMコース/総合コース		授業形態 演習
期 間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間 45 分	
期	修 得 目 標				
前期	作曲・編曲に必要なヴォーカルの基本や知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月15日	発生と声帯について(声の出る仕組み)			
2	4月22日	ブレスコントロール			
3	5月13日	ナチュラルな腹式呼吸・基本発声			
4	5月20日	発声により変化する声帯のイメージ			
5	5月27日	母音・子音の発声・発音			
6	6月10日	言葉のアクセントについて			
7	6月17日	正しく音を取り、滑らかに音程を移動させる			
8	6月24日	声色のバリエーション			
9	7月8日	ファルセット→ミックスヴォイスの変化			
10	7月15日	チェストボイス・ミックスヴォイスの違い			
11	7月22日	リズムトレーニング			
12	7月29日	歌唱テクニック1 ビブラート			
13	8月19日	歌唱テクニック2 シャクリ			
14	8月26日	歌唱テクニック3 ウィスパークヴォイス			
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	14時間中 5時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	SR技術概論 I			担当講師	森本 信		
講師実務経験	レコーディングエンジニア・サウンドデザイナー・ミュージックディレクタープロダクション&アーティストマネージメントほか						
対象学年	1	学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTM コース/総合コース		授業形態	講義
期 間	前期	総授業回数	14	回	1回あたりの授業時間		90 分
期	修 得 目 標						
前期	スタジオ録音・音楽業界のシステムを修得する。						
回数	日程	【授 業 計 画】					
1	4月15日	オリエンテーション(講義内容進行について・音楽の楽しさについて)					
2	4月22日	なぜ音響を学ぶのか、音響物理と楽音における『音』を考えてみる					
3	5月13日	音響技術に関わる最低限の知識とは、何を学ぶか、またその学び方とは以下、JAPRSサウンドレコーディング技術概論を教科書とし講義進行する					
4	5月20日	音響物理の基礎(音波、聴覚、など)					
5	5月27日	音響物理の基礎(尺度、decibelなど)					
6	6月10日	音響物理の基礎(波長、振動数、音律、特性など)					
7	6月17日	電気音響の基礎(直流回路、交流回路、電気磁気、オームの法則など)					
8	6月24日	電気音響の基礎(電子回路、トランス、インピーダンス、ダンピングなど)					
9	7月8日	音響機材やシステムについて(種類や目的、マイクやミキサーについて)					
10	7月15日	音響機材やシステムについて(種類や目的、マイクやミキサーについて)					
11	7月22日	音響機材やシステムについて(録音スタジオやステージのシステム)					
12	7月29日	音響機材やシステムについて(アコースティック音響、收音技法)					
13	8月19日	前期のまとめ、試験対策					
14	8月26日	試験対策、模擬テストなど					
15							
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A						
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)						
テキスト							
注意事項	28時間中 10時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)						

科目名	ProTools実習 I			担当講師	金沢 琢司
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	スタジオサウンドコース/作曲・DTMコース/総合コース	授業形態	実習
期間	前期	総授業回数	14 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	基本的な操作、概念を学びProToolsの基本技術を修得する				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月16日	ProToolsとは:音響の場でのProToolsの優位性			
2	4月23日	編集ウィンドウの概要			
3	4月30日	ミックスウィンドウの概要			
4	5月14日	編集ツールの概要:クリップの編集			
5	5月21日	プラグインインサートの概要①:種類・使い方			
6	5月28日	プラグインインサートの概要②:種類・使い方			
7	6月11日	各設定①:プレイバックエンジン・H/Wバッファサイズ・			
8	6月18日	各設定②:I/O設定			
9	6月25日	各設定③:タイムライン設定、時間軸の理解			
10	7月9日	メモリーロケーション機能の理解			
11	7月23日	デモ音源を使つての編集作業練習①			
12	7月30日	デモ音源を使つての編集作業練習②			
13	8月20日	デモ音源を使つてのミックス作業練習①			
14	8月27日	デモ音源を使つてのミックス作業練習②			
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	42時間中 15時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	作詞 I		担当講師	杉本直香	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ ベースコース/ドラムコース/作曲・ DTMコース/総合コース		講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	作詞の基礎を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	詩の大切さを理解する			
2	4月24日	曲の分析			
3	5月8日	分析結果から新たに作詞			
4	5月15日	ら抜き言葉			
5	5月22日	作詞で使える色の表現について(1)			
6	6月12日	作詞で使える色の表現について(2)			
7	6月19日	作詞で使える天気や景色の表現について(1)			
8	6月26日	作詞で使える天気や景色の表現について(2)			
9	7月10日	曲・歌詞から詩的表現を集める			
10	7月17日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(1)			
11	7月24日	叙事詩・叙情詩・叙景詩(2)			
12	8月21日	当用漢字・常用漢字			
13	8月28日	比喩(直喩・隠喩)			
14					
15					
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	39時間中 14時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽ビジネス		担当講師	曾山 良一	
講師実務経験	JASRAC会員27年・ポリドール、東芝EMI、VAPレーベル契約				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ ベースコース/ドラムコース/スタジオサ ウンドコース/作曲・DTMコース/総合 コース		授業形態 講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	音楽産業における立ち位置を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	プロ42年の経験・自己紹介・授業ガイダンス			
2	4月24日	音楽産業について、職種			
3	5月8日	レコード会社について(メジャー・ミニメジャー・インディーズ)			
4	5月15日	実演家、コンポーザーと法人との契約について			
5	5月22日	著作権とは、定義、保護期間について			
6	6月12日	著作権、支分権について			
7	6月19日	著作権の及ばない事例について			
8	6月26日	著作権の管理について			
9	7月10日	音楽、舞台専門用語について			
10	7月17日	音楽、楽器の略称について			
11	7月24日	ホール、ライブハウス、イベント等の興行について			
12	8月21日	ポピュラー音楽史、質疑応答			
13	8月28日	総括・試験対策			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	音楽研究		担当講師	永盛 岳生	
講師実務経験	自身のバンドにて音楽レーベルよりデビュー。アーティスト専属契約。TV、CM楽曲タイアップ等。				
対象学年	1 学年	対象コース	ヴォーカルコース/ギターコース/ ベースコース/ドラムコース/スタジオサ ウンドコース/作曲・DTMコース/総合 コース		講義
期 間	前期	総授業回数	13 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	音楽及びポップカルチャー全体を体系的に学ぶ事で社会と音楽文化の歴史と変化を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月17日	授業ガイダンス			
2	4月24日	ポップミュージックの基礎知識			
3	5月8日	ブルースとポピュラーミュージックの誕生			
4	5月15日	ロックミュージックの誕生とその発展			
5	5月22日	パンク誕生の文化的、社会的背景とその影響			
6	6月12日	ヒップホップの誕生の文化的、社会的背景			
7	6月19日	ポピュラーミュージックにおける歌詞の分析			
8	6月26日	音楽と映像表現・映画史から学ぶポップカルチャーの現在			
9	7月10日	音楽と映像表現・ミュージックビデオから学ぶ音楽産業の進化:1			
10	7月17日	音楽と映像表現・ミュージックビデオから学ぶ音楽産業の進化:2			
11	7月24日	ポップカルチャーと多様性の拡大:1			
12	8月21日	ポップカルチャーと多様性の拡大:2			
13	8月28日	まとめとテスト対策			
14					
15					
評価方法	定期試験(筆記試験)100%、平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:A				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	26時間中 9時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	キーボード実習		担当講師	中村未央	
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1 学年	対象コース	作曲・DTMコース / 総合コース		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	6 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	DTMや作曲、編曲をする際にキーボード活用できるよう、伴盤上でのリズムやコードの理解を目指し、基礎トレーニングを含めコードワークや奏法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	7月4日	授業概要及び基本トレーニング方法とスケールの運指について			
2	7月11日	基本トレーニング スケール練習トライアドの習得			
3	7月18日	基本トレーニング トライアド+6th,7th,M7thの習得			
4	7月25日	基本トレーニング アルペジオ			
5	8月22日	基本トレーニング コード転回			
6	8月29日	基本トレーニング コードワーク(4、8、16beatの弾きわけ)			
評価方法	定期試験点数(30%)実技修得度(70%)平常点±10点(出席率、提出物、授業態度・取組状況など) 成績評価方法:B				
評価	上記総合評価点 S(100-90) A(89-80) B(79-60) C(59-50) D(49以下 不可)				
テキスト					
注意事項	18時間中 7時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	PA実習		担当講師	久本 晃三	
講師実務経験	音響会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	PAという仕事を理解し、マイクケーブル、マイクスタンドの基本的な取り扱いを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	オリエンテーション、ケーブル巻き			
2	5月16日 5月23日 6月13日	PAセクションの仕事の概要説明、ケーブル巻き、マイク、マイクスタンドの取り扱い			
3	6月20日 6月27日	PAセットを組んで音を出してみる。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	REC実習		担当講師	金沢 琢司	
講師実務経験	レコーディングスタジオ勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	授業選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	レコーディングスタジオの基本を修得				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	スタジオワークの紹介			
2	5月16日 5月23日 6月13日	マイクセッティング(ドラムセット)			
3	6月20日 6月27日	ミックス素材を使っでのデモミックス			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	各回授業にて配布				
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	照明実習		担当講師	鈴木 雅光	
講師実務経験	イベント制作会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	授業選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	『照明』とは、どのような仕事かを知り、自分が目指す職種との関わりを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス。照明の役割と、音楽と照明について			
2	5月16日 5月23日 6月13日	仕込みからシュートまでについて			
3	6月20日 6月27日	オペレートについて			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	各回授業にてプリント配布				
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	テレビ番組制作		担当講師	田端 優一	
講師実務経験	放送局関連会社勤務				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	135 分
期	修 得 目 標				
前期	番組制作の流れとスタッフの役割を理解し、基礎的な知識と技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス～番組制作の現場について			
2	5月16日 5月23日 6月13日	テレビスタジオ、副調整室の仕組みや機材全般の取り扱い方について			
3	6月20日 6月27日	テレビスタジオで番組の収録を行う			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト	授業にて資料配布				
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	文書デザイン		担当講師	近藤 直美	
講師実務経験	パソコントレーナー歴28年				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	Wordの有効な利用を通して、文書デザイン能力を取得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	授業ガイダンス、PC操作、キーボード入力練習、ワードの基本的な操作、文書作成			
2	5月16日 5月23日 6月13日	Wordによるビジネス文書・デザイン文書の作成 ビジネス文書の決まりを学ぶ。 文字装飾、表や図の挿入を学ぶ。			
3	6月20日 6月27日	Wordによるデザイン文書の作成 Wordの様々な機能を生かした、デザイン文書の作成を学ぶ。			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ヴォーカル実習(選択)		担当講師	宍戸美鈴	
講師実務経験	シンガーソングライター				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	発声法基礎と歌唱法を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ミックスボイス)			
2	5月16日 5月23日 6月13日	発声法基礎(高音域・低音・中音域) 歌唱法(ビブラート)			
3	6月20日 6月27日	発声法基礎(高音域・低音・中音域・鼻腔共鳴)			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ギター実習(選択)		担当講師	小松 チホコ	
講師実務経験	箱バンでのギター演奏9年、自身のバンド活動約15年				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間	
期	修 得 目 標				
前期	ギター演奏の基本技術と知識を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	実習内容について説明、セットアップ、基本エクササイズ			
2	5月16日 5月23日 6月13日	オープンコード、コードの応用、シンプルな課題曲			
3	6月20日 6月27日	ブルースフォームでの様々な演奏スタイル			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ベース実習(選択)		担当講師	木村 圭子	
講師実務経験	ベーシスト				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	ベースの役割を学び、基礎スキルを修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	BASSという楽器について(基本フォーム・運指トレーニング)			
2	5月16日 5月23日 6月13日	2finger奏法基礎 8feel groove 課題曲			
3	6月20日 6月27日	Slap奏法基礎 16feel feel groove 課題曲			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	ドラム実習(選択)		担当講師	岸林 大輔	
講師実務経験	演奏家、ヤマハ、三響、ミツノ講師				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	Dr,Set,及びリズムの基礎を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	Stick Control&Foot リズムスタイル			
2	5月16日 5月23日 6月13日	リズムスタイル#2、Fill-In			
3	6月20日 6月27日	リズムスタイル#3、エチュード、まとめ			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				

科目名	DTM実習(選択)		担当講師	中村 未央	
講師実務経験	DTM講師経験				
対象学年	1 学年	対象コース	選択者		授業形態 実習
期 間	前期	総授業回数	3(2) 回	1回あたりの授業時間 135 分	
期	修 得 目 標				
前期	基本的な打ち込み技術を修得する。				
回数	日程	【授 業 計 画】			
1	4月18日 4月25日 5月9日	Cubaseの基本操作1			
2	5月16日 5月23日 6月13日	Cubaseの基本操作2			
3	6月20日 6月27日	Cubaseの基本操作3			
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					
11					
12					
13					
14					
15					
評価方法	2/3以上の出席で「修得済」評価				
評価	「修得済」評価(点数評価は行わない)				
テキスト					
注意事項	9(6)時間中 6(3)時間の欠席で定期試験受験不可=卒業ができません(留年となります)				